

2020年プレーデー・野外劇シナリオ

かぜとのはらのうた

—風と野原の生き物たちの四季のお話—



【第1部】

<初夏の野原・たんぽぽ・わたげの旅立ち>

あさのひかりが
さらさらとふりそそぐ のはら
まぶしいひかりが
もうすぐなつだよと いったるみたい
やがて のはらのあちこちで
たんぽぽたちが めをさまし
ゆっくりゆっくり はなをひろげはじめる
おひさまみたいに
まあるくて きいろいはなが
のはらを きれいにきれいに そめてゆく

<ちょうちょ>

はっぱのうえに ちいさなたまご
ぼんっとうまれてきたのは
ちいさな ちいさな ようちゅうたち
くねくねくね くねくねくね
からだをくねらせながら あるいてきたよ

あるいていたとおもったら
じーっとしてうごかない
さなぎにへんしんして ねむっているんだね

かたいからをぬいででてきたのは
たくさんちょうちょ
はねを おおきくうごかして
ひらーり ふわり ひらーり ふわり

(音楽)

音楽畑

「黄昏」

となりのトトロ

「5月の村」

たんぽぽの はなにとまったよ
ストローみたいな ながいくちばしを
のばして みつをすう
おいしいね おいしいね
みつをたくさんすったら
またとびはじめて どこかへとんでゆく

<わたげのたびだち>

むこうの もりをぬけて
かぜがそよそよと やってくる
はなをおとした たんぽぽは
わたげの わたぼうしになって ぐーんとのびた
わたぼうしのあたまを ふくらませて
そろそろ とんでいきたそう
かぜが わたげたちにこえをかける
せーの！
（かぜ）じゅんぴはいいかい
（わたげ）いいよー
それーっ
ちりちりに たかくちらばって
ふわりふわりと かぜにのってとびはじめる
ふわりふわり くるりくるり
くるくるとまわりながら かぜにのってとんでゆく

<だんごむし>

おおきいきのした はっぱのしたに
かかっている だんごむし
そこへ ひゅーんとかぜがふいて
はっぱを ふきとばす
そろそろと うごきだす だんごむし
たくさんのあしを うごかして
あっちにこっちに あるきだす
じめんのうえを あるきまわる

あっ カマキリがきたぞ！
それ まるくなれ
みんな まるくなれ
くるっくるっ

魔女の宅急便

「晴れた日に」
（わたげを飛ばす風登
場）

魔女の宅急便

「身代りジジ」

カマキリが いなくなった
もうだいじょうぶだよ
あーよかった
さあ さんぽにゆこう
たくさんのおしを うごかして
みんな いっしょに あるいていく

【第2部】<夏の野原・木と虫たち>

なつがやってきた
もえるような おひさまが
まぶしい ひかりのつぶを
のはらに まきちらしている

<てんとうむし>

あおいそらに わたあめみたいなくも
せなかの みずたまもようを ひからせて
てんとうむしが やってきた
はっばのうえを おちないように
ちょちょこ はやあしであるいてる
おなかがすいたね
あぶらむしを みつけたぞ
たべよう たべよう
おいしいね
あー おなかがいっぱい
みんなが はっばのうえに あつまってきたよ
あっ！ たいへん とかげが きたぞ！
コロんところがって
きいろの くさいしるをだして おいはらう

もうだいじょうぶ
はねをぱっとひろげて とんでいったよ

<かまきり>

みどりいろの くさのかげで
かかっているのは かまきり
みどりいろのからだを じーっとさせて うごかない

崖の上のポニョ
「深海牧場」
(太陽登場)

とっところハム太郎
「ボンジュール リボ
ンちゃん」

もののけ姫
「タタラ場前の闘い」

えものを さがしにいこう
おいしいばったは いるかな？
あっ！ おいしそうなばったがいたぞ
じーっとねらって ぎざぎざのかまをかまえて
さっとうごかす
つかまえたばったは にがさないぞ
むしゃむしゃむしゃ むしゃむしゃむしゃ
たべおえたら かまのそうじだ
かまをペロペロなめて ぴかぴかにしよう
きれいになったら つぎのごちそうを さがしにいこう
くさのうえを あるいてゆく

<かぶとむし>

うすぐらくなったそらを
はねを おおきくひろげて
かぶとむしが とんでくる
そして おいしそうに きのみつを すいはじめる
あまいみつだ おいしいなあ
おいしいおいしい

えさのとりのあいだで けんかになる
つのをひくくつきだし
あいてのしたに もぐらせようとする
みあって みあって
はっけよーい のこった
さあ どっちがかつかな
はっけよーい のこった
さあ そろそろゆこうか…
つぎつぎに とびたってゆく

<くわがた>

すっかりくらくなった もりのなか
つきあかりがてらしたしたのは
のこぎりみたいな おおきなあご
きのすきまから はいでてきたのは くわがた

こっちから あまいみつのにおいがするぞ
そろそろと きをのぼりだすくわがたち

風の谷のナウシカ
「メーヴェ」

紅の豚
「時代の風」

おいしいみつをめざして きのぼりきょうそうだ

みつをひとりじめしようとして けんかになる
おおあごをひらいて
あいてをはさんだら なげとばすぞ
あっちでも こっちでも けんかになる
さあ だれがかつかな
あっ！ あっちのきからも あまいにおいがするぞ
パッとほねをひらいてとびたつ くわがたたち
けんかはやめて おいしいしょくじのじかんだ
あまいみつだ おいしいなあ
おいしい おいしい

だんだん そらがあかるくなってきたぞ
そろそろかえろうか
みんなとびたってゆく

【第3部】<台風がやってくる>

のはらのむこうの もりが
ざわざわ さわいでいる
ごうごうと ぶきみなおとが きこえてきた
たいふうだ！ たいふうが やってきたぞ
なんでも ぶきとばしてしまいそうな いきおいで
かぜが おしよせてくる
かぜのかたまりが きのえだを はげしくゆらす
きがうなりだす
はっぱたちが ざわざわざわと おおさわぎ
びゅーん びゅーん たいふうだ
びゅーん びゅーん なんでもぶきとばしてしまうぞ
ごー ごー ごー ごー
それ たつまきだ
ぐるぐるぐる ぐるぐるぐるとまわって
スピードをあげて さあゆくぞ
びゅーん びゅーん びゅーん
ごー ごー ごー ごー

(台風 登場)
千と千尋の神隠し
「竜の少年」

【第4部の①】<秋のさわやかな風>

たいふうが いってしまったあとは
どこまでもたかくて まっさおなそら
とんぼのはねみたいに すきとおった
あきのかぜが すーっ すーっ とふきわたる
くさはなたちを やさしくゆらして
すーっ すーっ とふきすぎる

<とんぼ>

まっさおな そらのした
かぜにのって すーい すーいと
とびまわる とんぼたち
キョロキョロキョロ
おおきなめをうごかして えものをさがす
おいしそうなむしを みつけたぞ
スピードをあげて おいかける
さっとつかまえたら もうはなさない
もぐもぐもぐ もぐもぐもぐ
おなかが いっぱいになったら
えだにとまってひとやすみ
じまんのおおきなめを きれいにふいておこう
あっちにかわがみえるぞ
みなもにはねを ちゃんとつけて
みずあびは きもちいいなあ
あっ あみをもった こどもがやってきたぞ
それっ にげろ！
すーいすーいと とんでにげていく

【第4部の②】<秋も深まって>

いつのまにか きのはっぱが あかくなって
きのまわりが あかるくなったみたいだ
かぜがときどき げんきをだして ひゅーっとふく
まいおりたかれはで きのしたは おちばのじゅうたん
どんぐりのみが ばらばらっと おちる
じめんにはどんぐりのみが いっぱい

もののけ姫
「アシタカとサン」
(秋のさわやかな風
登場)

「探検に行こう」

となりのトトロ
「小さな写真」
(落ち葉の季節の風
登場)

<のうさぎ>

のうさぎが おおきいあしで
じめんをけて やってきた
ぴょんぴょん ぴょん ぴょんぴょん ぴょん
なにか おいしいものは ないかな？
あたりを みまわして
あっ どんぐりをみつけたぞ
くりもあったよ
カリカリカリ カリカリカリ
おなかがいっぱいになったら ひとやすみ
あれっ なにかきこえるぞ
みみをたてて きょろきょろ きょろきょろ
あっ とりがとんでくるおとだ！
たいへんだ にげろ
スピードをだして
いちもくさんににげていく

<まがん>

とおきたのそらから まがんたちがやってきた
「V(ぶい) のじになって、さあいくよ」とおとなたち
「ついていくよ」とこどもたち
おおきなはねを ちからづよくうごかして
ぬまにむかって とんでゆく

ぬまについたら ひとやすみ
はねをすこしやすめたら
おいしいおちぼを たべにゆこう！
たんぼについたら おちぼをたべる
ぱくぱくぱく ぱくぱくぱく
かぞくをまもろうと みはりをする おとなのまがん
あっ！ だれかきたぞ！
おおきなはねを ちからづよくうごかして
みんないっしょに とんでゆく

ピーターパン

風の谷のナウシカ
「鳥の人」

【第5部】 <つめたいつめたい北風／冬眠>

ひゅーん ひゅーん
きたかぜが ひえたつめたいくうきを はこんでくる
きはすっかり はっぱをおとして
くさは みんな かれて
のはらには もうだーれもない
ひゅーん ひゅーん
かぜだけが さみしくふいている

【第6部】 <春をつれてくる風／いのちの讃歌>

かぜがのはらをわたってゆく
するーするーと わたってゆく
はるをはこんで するーするーっ
のはらに はるがきた

はるをまっていた たんぽぽのはなたちが
はなを ひらきはじめて
のはらを あかるくそめてゆく
はるかぜが やさしくはなを ゆずっている
おひさまのひかりが あたたかい

さあ みんなで だんすをしよう
(よろこびのダンス)

つちのなかに かくれていた むしたちも
じっとしていた くさたちも
きのえだの ちいさなめも
みんなみんな はるをまっていたんだね
うれしいね はるがきて
たのしいね はるがきて
いきているって うれしいね
いきているって たのしいね
かぜさん はるをありがとう
かぜさん いのちをありがとう

千と千尋の神隠し
「あの日の川」
(つめたい北風登場)

音楽畑
「黄昏」
(春を運ぶ風登場)

(ダンスの曲)
「ハピネス」

紅の豚
「アドリアの海へ」